

生物資源学特別セミナー

＝宇多川隆特任教授最終講義＝

演 題： バイオものづくりの研究開発
-大学・企業・産学連携-

演 者： 福井県立大学特任教授
宇多川 隆 先生

日 時： 平成28年2月12日(金) 15:00～16:30

場 所： 福井県立大学(福井キャンパス)L208教室

宇多川先生は、1974年に味の素(株)入社。微生物や酵素を利用するバイオものづくりの研究開発・生産管理に従事。1980年代に開発した抗ウイルス剤「Ara-A」は、日本初の核酸系抗ウイルス剤で、現在も生産されている。1990年代初めに開発されたイノシン酸等の核酸系調味料の新製法は、産学連携の成果であり、2003年にタイ国に新設された工場において実用化された。

2008年に福井県立大学赴任後は、福井の伝統的古典発酵に新しい視点で取り組み、今庄の発酵梅肉生産工場の梅壺から分離した酵母を利用したワイン、麦酒、清酒等の醸造製品や、発酵食品「へしこ」等、鯖加工工場の副生物を有効利用して製造する鯖魚醬および関連商品を地域の企業と共に開発し商品化してきた。

最終講義では、バイオものづくりにおける基礎から実用化に至る研究の進め方や方法について、裏話を含めて講演頂きます。

連絡先:担当教員名 木元(3402)/濱野(3408)
ご来聴を歓迎いたします
福井県立大学生物資源学科
(0776) 61-6000